

室蘭工業大学
平成 30 年度 企業アンケート

集計結果報告書
平成 30 年 12 月

目次

1. 調査の概要.....	4
2. 調査結果の要約.....	5
3. 調査集計結果.....	7
I-1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度.....	7
I-2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識.....	8
I-3. 本学の就職支援活動についての印象.....	9
I-4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲.....	10
I-5. 本学卒業者の採用理由.....	11
I-6. 本学卒業者の採用状況.....	12
I-7. 本学卒業者の職種.....	15
II-1. 本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想.....	18
II-2. 本学の学生への教育活動についての感想.....	22
II-3. 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点(自由回答).....	23
II-4. 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答).....	28

1. 調査の概要

- ①実施時期：平成 30 年 9 月～10 月
- ②対象：室蘭工業大学 卒業生採用企業より抽出した 615 社
- ③方式：郵送依頼・郵送回収方式
- ④回答・回収状況：298 社（回収率：48.5%）
- ※＜参考＞前回平成 27 年調査では配布 505 社 / 回答 167 社（回収率：33.1%）
- ⑤集計・分析にあたっての回答企業の処理：

本調査では回答企業の評価を学科別に分析することを目的に、一企業で例えば「建設システム工学科」と「機械システム工学科」について雇用実績があれば2社という扱いにし、「建設システム工学科」と「機械システム工学科」卒業生の印象などに反映させる方式をとっている。

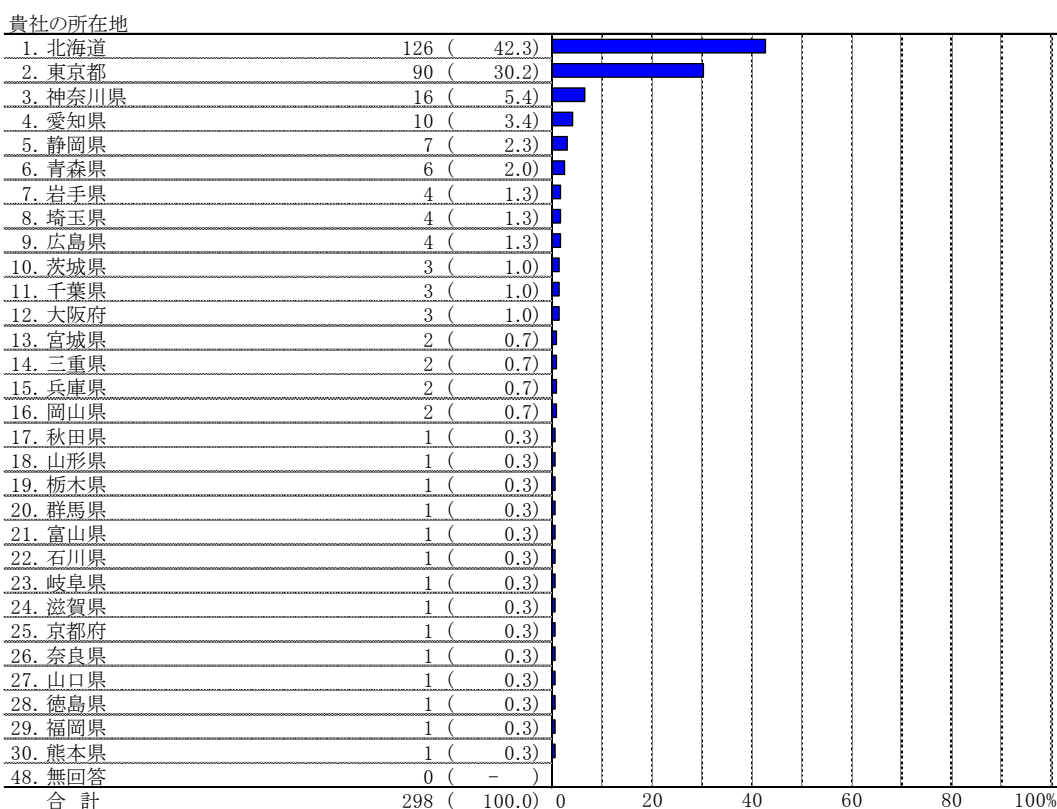
したがって、分析・報告にあたっての母数は下図表の全体〔689〕社で各種クロス集計などを行っている。

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

①学部卒業生

	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上	無回答
全体〔689〕	31.1	26.3	15.8	8.4	17.0	1.5
建設システム工学科〔43〕	20.9	25.6	18.6	9.3	25.6	—
機械システム工学科〔85〕	25.9	25.9	16.5	11.8	17.6	2.4
情報工学科〔49〕	24.5	26.5	20.4	4.1	24.5	—
電気電子工学科〔84〕	23.8	28.6	14.3	11.9	19.0	2.4
材料物性工学科〔61〕	19.7	31.1	19.7	11.5	16.4	1.6
応用化学科〔43〕	23.3	27.9	23.3	7.0	14.0	4.7
建築社会基盤系学科〔42〕	38.1	21.4	9.5	7.1	21.4	2.4
機械航空創造系学科〔67〕	37.3	23.9	11.9	13.4	11.9	1.5
応用理化学系学科〔60〕	45.0	28.3	13.3	3.3	10.0	—
情報電子工学系学科〔97〕	42.3	21.6	15.5	4.1	16.5	—
上記以外の学科〔58〕	34.5	29.3	13.8	6.9	13.8	1.7

⑥回答企業の県別分布



2. 調査結果の要約

- 回答企業の所在地を都道府県別でみると、北海道(42.3%:126社)が最も多く、次いで東京都(30.2%:90社)、神奈川県(5.4%:16社)、愛知県(3.4%:10社)、静岡県(2.3%:7社)、青森県(2.0%、6社)となっている。他府県は5社未満である。(回答企業住所より)
- 卒業者が企業等の人材ニーズや期待に「十分応えている」69.8%、「どちらかといえば応えている」26.6%を合わせた肯定的回答の合計は全体として96.4%となっている。(問I-1)
- 卒業者の能力や意識の水準について、「全体として高いと感じる」「どちらかといえば高いと感じる」との肯定的回答は92.0%。特に「全体として高いと感じる」という強い回答割合がこれまでの調査で最も高い数値となっている。(問I-2)
- 本学の就職支援活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」との肯定的回答は78.4%。<これまでの調査との比較>でみると、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」を合わせた割合は、前回調査度と同じ程度となっている。(問I-3)
- 本学卒業者について「今後も積極的に求人・採用していきたい」と回答した企業等は89.8%。「今後も積極的に求人・採用していきたい」割合が過去調査と比較して最も高くなっている。(問I-4)
- 本学卒業者の採用理由については、「過去の卒業生の実績が認められるから」の割合が68.1%で最も高く、次いで「国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから」で63.7%となっている。(問I-5)
- 回答企業の本学学部卒業者の採用人数については、これまでの調査年度全てにおいて5人以上採用している企業が概ね6割以上を占めている。(問I-6)
- 学科卒業者の職種に関して、平成30年度調査で技術職が84.5%、次いで総合職が30.9%、営業職が17.3%となっている。(問I-7①)
- 大学院博士前期(修士)課程修了者の職種については、平成30年度調査で技術職が86.5%、総合職が31.7%、研究職が15.7%となっている。(問I-7②)
- 大学院博士後期課程修了者については、平成30年度調査で技術職が73.3%、研究職33.3%となっている。(問I-7③)

- 本学学部卒業者の意識や身につけている能力についての感想で、「思う」「やや思う」を合わせた肯定的意見の割合が高い項目は、「仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業者が多い」(98.1%)、「仕事上の課題等に積極的に取り組む意識や行動力を持っている卒業者が多い」(95.9%)、「社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業者が多い」(91.9%)などが挙げられる。一方、印象度の低いものは、「国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持った卒業者が多い」(17.8%)、「国際感覚を身につけた卒業者が多い」(22.5%)などである。(問Ⅱ-1)
- 本学の学生への教育活動についての感想で、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見は91.7%。(問Ⅱ-2)
- 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点(自由回答)については、本学の教育面での感想や要望が数多く寄せられた。(問Ⅱ-3)
- 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答)については、意見・要望よりも卒業者の活躍や今後の人材輩出に対する期待などが多くを占めており、本学と回答企業との深い関係性や信頼感が感じられた。一方、本学のみに対してではないが、企業が求めているコミュニケーション・プレゼンテーション能力強化への希望記述が複数あった。(問Ⅱ-4)

以上

3. 調査集計結果

I-1. 卒業生採用企業等の人材ニーズや期待への対応度

本学卒業生が企業等の人材ニーズや期待にできていると思うかとの設問である。

「十分できている」69.8%、「どちらかといえばできている」26.6%を合わせた肯定的回答の合計は全体として 96.4%となっている。母数が少ないので分析は難しいところだが、学科別に若干の差異も認識される。<これまでの調査との比較>でみると、積極的な選択肢である「十分できている」がこれまでの調査で最も高い数値となっている。

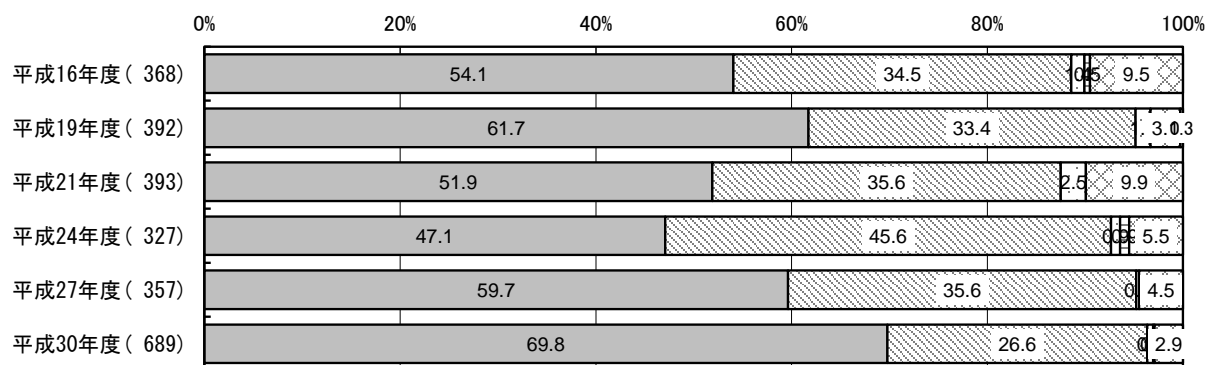
I-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にできていると思われ
ますか<0403>

	十分できている	どちらか といえば できている	やや不足 している	不足して いる	個人間の ばらつき があり何 ともいえ ない	無回答	肯定的 意見
全 体[689]	69.8	26.6	0.6	0.1	2.9	—	96.4
建設システム工学科[43]	67.4	27.9	2.3	—	2.3	—	95.3
機械システム工学科[85]	67.1	28.2	—	—	4.7	—	95.3
情報工学科[49]	73.5	26.5	—	—	—	—	100.0
電気電子工学科[84]	66.7	29.8	—	—	3.6	—	96.4
材料物性工学科[61]	73.8	23.0	—	—	3.3	—	96.7
応用化学科[43]	62.8	34.9	—	—	2.3	—	97.7
建築社会基盤系学科[42]	73.8	19.0	2.4	2.4	2.4	—	92.9
機械航空創造系学科[67]	77.6	19.4	—	—	3.0	—	97.0
応用理化学系学科[60]	66.7	28.3	1.7	—	3.3	—	95.0
情報電子工学系学科[97]	70.1	24.7	1.0	—	4.1	—	94.8
上記以外の学科[58]	69.0	31.0	—	—	—	—	100.0

※上図表右端の「肯定的意見」は、本設問であれば回答の「十分できている」「どちらかといえばできている」の数値を合計して、小数点第2位を四捨五入して表示しています。そのため、「肯定的意見」列に表示された数値が図表上に表示された数値の合計と合致しない場合がありますのでご了承ください。

<これまでの調査との比較>

I-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にできていると思われ
ますか<0403>



<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> どちらか といえば できている
<input type="checkbox"/> やや不足している	<input type="checkbox"/> 不足している
<input type="checkbox"/> 個人間のばらつきがあり何ともいえない	<input type="checkbox"/> 無回答

I-2. 卒業者の能力や意識の水準についての認識

卒業者の能力や意識の水準について、「全体として高いと感じる」「どちらかといえば高いと感じる」との肯定的回答は92.0%。

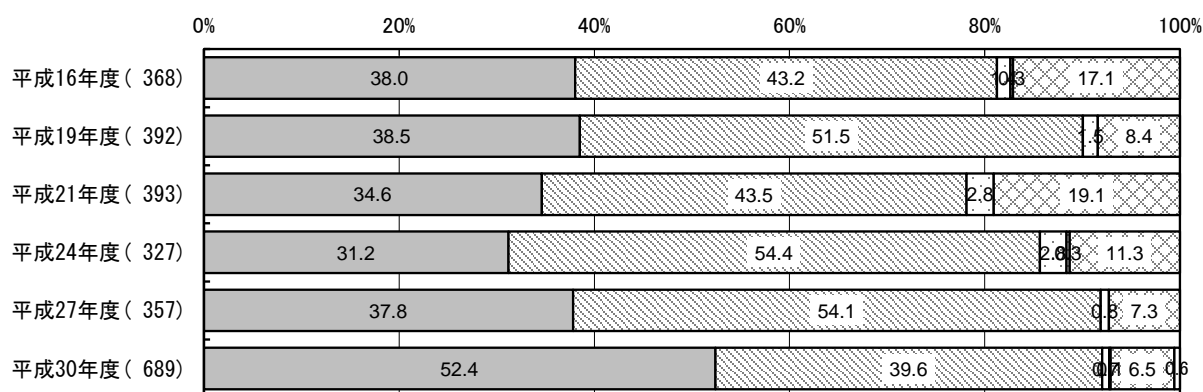
<これまでの調査との比較>でみると強い肯定である「全体として高いと感じる」割合は52.4%であり、これまでの調査で最も高い数値となっている。

I-2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか<0405>

	全体として高いと感じる	どちらかといえば高いと感じる	どちらかというやや低いと感じる	低いと感じる	個人間のばらつきがあり何ともいえない	無回答	肯定的意見
全体[689]	52.4	39.6	0.7	0.1	6.5	0.6	92.0
建設システム工学科[43]	62.8	30.2	2.3	—	2.3	2.3	93.0
機械システム工学科[85]	44.7	44.7	1.2	—	9.4	—	89.4
情報工学科[49]	59.2	38.8	—	—	2.0	—	98.0
電気電子工学科[84]	56.0	34.5	—	—	9.5	—	90.5
材料物性工学科[61]	49.2	45.9	—	—	4.9	—	95.1
応用化学科[43]	48.8	48.8	—	—	2.3	—	97.7
建築社会基盤系学科[42]	59.5	33.3	2.4	2.4	—	2.4	92.9
機械航空創造系学科[67]	53.7	37.3	—	—	9.0	—	91.0
応用理化学系学科[60]	45.0	46.7	1.7	—	6.7	—	91.7
情報電子工学系学科[97]	52.6	36.1	1.0	—	9.3	1.0	88.7
上記以外の学科[58]	51.7	39.7	—	—	6.9	1.7	91.4

<これまでの調査との比較>

I-2. 本学の卒業者の能力や意識の水準について、どう感じておられますか<0405>



- 全体として高いと感じる
- どちらかといえば高いと感じる
- どちらかというやや低いと感じる
- 低いと感じる
- 個人間のばらつきがあり何ともいえない
- 無回答

I-3. 本学の就職支援活動についての印象

本学の就職支援活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」との肯定的回答は78.4%。

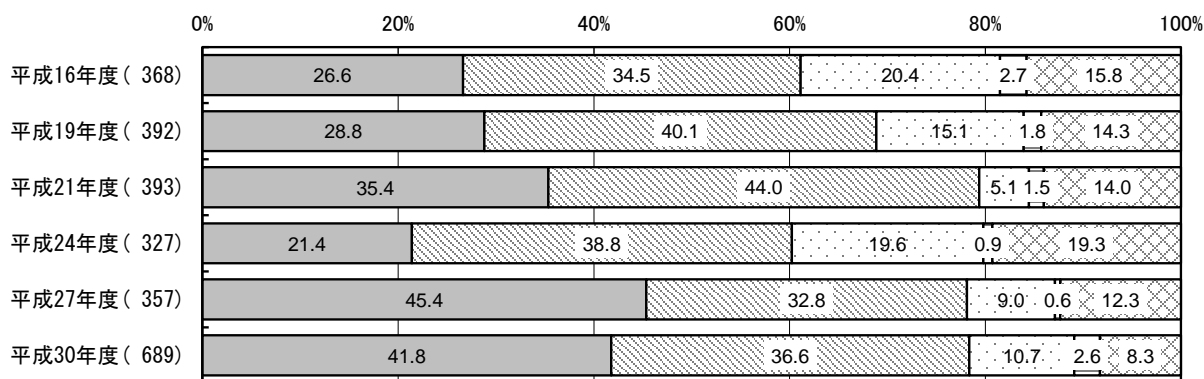
<これまでの調査との比較>でみると、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」を合わせた割合は、前回調査度と同じ程度といえよう。

I-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じてもらえますか

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心だとは感じない	熱心であると感じる	何ともいえない、わからない	無回答	肯定的意見
全体[689]	41.8	36.6	10.7	2.6	8.3	—	78.4
建設システム工学科[43]	32.6	39.5	14.0	7.0	7.0	—	72.1
機械システム工学科[85]	43.5	38.8	10.6	1.2	5.9	—	82.4
情報工学科[49]	51.0	28.6	6.1	10.2	4.1	—	79.6
電気電子工学科[84]	52.4	33.3	6.0	3.6	4.8	—	85.7
材料物性工学科[61]	37.7	37.7	16.4	—	8.2	—	75.4
応用化学科[43]	34.9	39.5	14.0	2.3	9.3	—	74.4
建築社会基盤系学科[42]	31.0	42.9	9.5	—	16.7	—	73.8
機械航空創造系学科[67]	49.3	37.3	9.0	1.5	3.0	—	86.6
応用理化学系学科[60]	38.3	31.7	10.0	3.3	16.7	—	70.0
情報電子工学系学科[97]	46.4	35.1	11.3	1.0	6.2	—	81.4
上記以外の学科[58]	27.6	41.4	13.8	1.7	15.5	—	69.0

<これまでの調査との比較>

I-3. 本学の企業等への求人・卒業予定者紹介などの就職支援活動について、どう感じてもらえますか



- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 全体として熱心だと感じる | <input type="checkbox"/> どちらかといえば熱心だと感じる |
| <input type="checkbox"/> あまり熱心だとは感じない | <input type="checkbox"/> 熱心であると感じる |
| <input type="checkbox"/> 何ともいえない、わからない | <input type="checkbox"/> 無回答 |

I-4. 今後の本学卒業者に対する求人・採用意欲

本学卒業者について「今後も積極的に求人・採用していきたい」と回答した企業等は 89.8%。

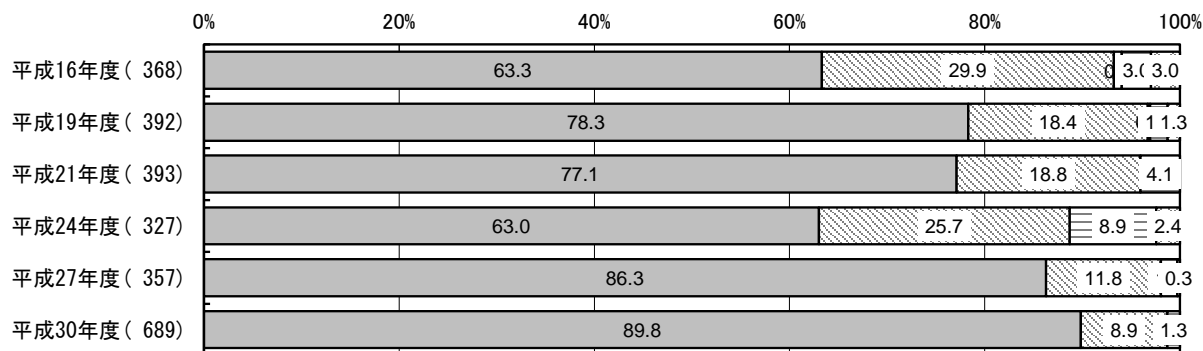
<これまでの調査との比較>でみると、「今後も積極的に求人・採用していきたい」割合が過去調査と比較して最も高くなっている。

I-4. 今後の本学の卒業者についての求人・採用に関してどうお考えですか<0404>

	今後も積極的に求人・採用していきたい	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	求人・採用をしていく予定はない	採用は個人本位であり、何ともいえない	その他	無回答
全体 [689]	89.8	8.9	—	1.3	—	—
建設システム工学科 [43]	88.4	11.6	—	—	—	—
機械システム工学科 [85]	92.9	3.5	—	3.5	—	—
情報工学科 [49]	91.8	8.2	—	—	—	—
電気電子工学科 [84]	92.9	7.1	—	—	—	—
材料物性工学科 [61]	93.4	6.6	—	—	—	—
応用化学科 [43]	86.0	11.6	—	2.3	—	—
建築社会基盤系学科 [42]	83.3	14.3	—	2.4	—	—
機械航空創造系学科 [67]	92.5	6.0	—	1.5	—	—
応用理化学系学科 [60]	81.7	18.3	—	—	—	—
情報電子工学系学科 [97]	90.7	8.2	—	1.0	—	—
上記以外の学科 [58]	87.9	8.6	—	3.4	—	—

<これまでの調査との比較>

I-4. 今後の本学の卒業者についての求人・採用に関してどうお考えですか<0404>



- 今後も積極的に求人・採用していきたい
- 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
- 求人・採用をしていく予定はない
- 採用は個人本位であり、何ともいえない
- その他
- 無回答

I-5. 本学卒業者の採用理由

本学卒業者の採用理由については、「過去の卒業生の実績が認められるから」の割合が68.1%で最も高く、次いで「国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから」で63.7%となっている。

<これまでの調査との比較>については、平成16～27年度の平均と今回調査の比較を追加した。「教員からの推薦・紹介」以外の項目について、過去調査の平均値よりも肯定割合が増加していることがわかる。

I-5. これまで本学の卒業者を採用いただいた理由は何ですか(複数回答)

	教員からの紹介・推薦	過去の卒業生の実績が認められるから	国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから	専門分野が当社に合致しているから	基礎学力があり、伸びる人材である点	コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから	職者が少ないなど当社の風土に合致する人材が多いと感じるから	その他	無回答
全体[689]	54.9	68.1	63.7	49.8	60.2	40.3	20.9	3.2	—
建設システム工学科[43]	60.5	74.4	69.8	58.1	60.5	44.2	16.3	2.3	—
機械システム工学科[85]	60.0	69.4	61.2	54.1	50.6	37.6	22.4	2.4	—
情報工学科[49]	53.1	67.3	79.6	51.0	71.4	44.9	26.5	6.1	—
電気電子工学科[84]	59.5	78.6	65.5	50.0	61.9	46.4	26.2	1.2	—
材料物性工学科[61]	57.4	70.5	57.4	45.9	59.0	37.7	16.4	3.3	—
応用化学科[43]	55.8	69.8	58.1	46.5	58.1	30.2	18.6	4.7	—
建築社会基盤系学科[42]	57.1	59.5	64.3	71.4	47.6	40.5	14.3	2.4	—
機械航空創造系学科[67]	58.2	70.1	62.7	49.3	53.7	37.3	23.9	3.0	—
応用理化学系学科[60]	38.3	55.0	46.7	31.7	56.7	50.0	16.7	1.7	—
情報電子工学系学科[97]	48.5	62.9	66.0	49.5	71.1	42.3	22.7	6.2	—
上記以外の学科[58]	56.9	69.0	72.4	46.6	67.2	29.3	19.0	1.7	—

<これまでの調査との比較>

I-5. これまで本学の卒業者を採用いただいた理由は何ですか(複数回答)

	教員からの紹介・推薦	過去の卒業生の実績が認められるから	国立大学卒であり、一定水準以上の能力が認められるから	専門分野が当社に合致しているから	基礎学力があり、伸びる人材である点	コミュニケーション力や人間的に魅力を感じる点が多いから	退職者が少ないなど当社の風土に合致する人材が多いと感じるから	その他	無回答
平成16年度(368)	62.0	60.9	53.0	37.8	37.5	13.0	8.4	3.0	1.1
平成19年度(392)	61.7	65.6	62.2	44.6	52.0	26.0	14.3	3.1	0.8
平成21年度(393)	64.6	69.2	56.2	48.1	48.3	20.4	16.5	6.1	—
平成24年度(327)	45.6	58.4	54.1	37.9	40.7	24.5	9.8	2.1	1.8
平成27年度(357)	53.5	68.9	62.5	51.5	54.1	32.2	12.3	0.8	—
平成30年度(689)	54.9	68.1	63.7	49.8	60.2	40.3	20.9	3.2	—
平成16～27年度の平均	57.5	64.6	57.6	44.0	46.5	23.2	12.3		
上記平均と平成30年度の差異	-2.6	3.5	6.1	5.8	13.7	17.1	8.6		

I-6. 本学卒業者の採用状況

回答企業の本学学科卒業生①学部卒業生の採用人数については、これまでの調査年度全てにおいて5人以上採用している企業が概ね6割以上となっている。

②大学院博士前期(修士)課程修了者について、5人以上採用している企業は調査年度により幅が出ている。③大学院博士後期課程修了者は、当然ながら採用人数は少なくなっている。

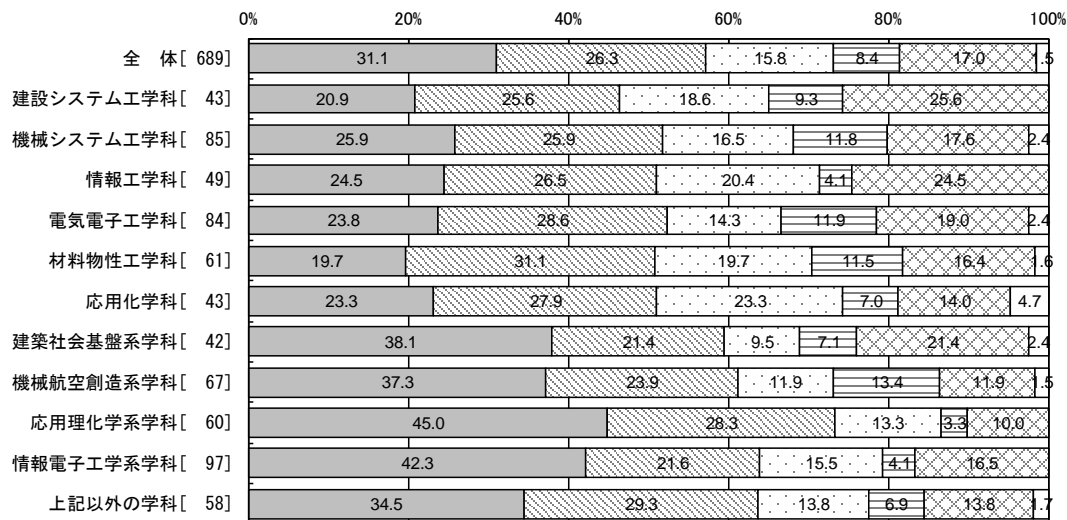
I-6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

①学部卒業生

	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上	無回答	5人以上
全体[689]	31.1	26.3	15.8	8.4	17.0	1.5	67.5
建設システム工学科[43]	20.9	25.6	18.6	9.3	25.6	—	79.1
機械システム工学科[85]	25.9	25.9	16.5	11.8	17.6	2.4	71.8
情報工学科[49]	24.5	26.5	20.4	4.1	24.5	—	75.5
電気電子工学科[84]	23.8	28.6	14.3	11.9	19.0	2.4	73.8
材料物性工学科[61]	19.7	31.1	19.7	11.5	16.4	1.6	78.7
応用化学科[43]	23.3	27.9	23.3	7.0	14.0	4.7	72.1
建築社会基盤系学科[42]	38.1	21.4	9.5	7.1	21.4	2.4	59.5
機械航空創造系学科[67]	37.3	23.9	11.9	13.4	11.9	1.5	61.2
応用理化学系学科[60]	45.0	28.3	13.3	3.3	10.0	—	55.0
情報電子工学系学科[97]	42.3	21.6	15.5	4.1	16.5	—	57.7
上記以外の学科[58]	34.5	29.3	13.8	6.9	13.8	1.7	63.8

I-6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

①学部卒業生



□1～4人 □5～9人 □10～14人 □15～19人 □20人以上 □無回答

<これまでの調査との比較>

①学部卒業生

	1～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20人以上	無回答	5人以上
平成16年度(363)	38.0	34.4	14.0	5.2	6.1	2.2	59.8
平成19年度(392)	29.6	24.0	17.1	7.7	19.4	2.3	68.1
平成21年度(393)	22.1	22.1	19.1	10.4	26.0	0.3	77.6
平成24年度(327)	41.9	22.6	11.6	10.1	13.8	—	58.1
平成27年度(357)	37.5	22.1	21.8	5.3	12.3	0.8	61.6
平成30年度(689)	31.1	26.3	15.8	8.4	17.0	1.5	67.5

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

②大学院博士前期(修士)課程修了者

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体[445]	15.7	9.2	10.3	10.3	52.4	2.0
建設システム工学専攻[25]	20.0	4.0	28.0	8.0	40.0	—
機械システム工学専攻[41]	7.3	7.3	9.8	7.3	63.4	4.9
情報工学専攻[26]	11.5	15.4	7.7	7.7	57.7	—
電気電子工学専攻[41]	12.2	14.6	4.9	7.3	56.1	4.9
材料物性工学専攻[35]	11.4	5.7	14.3	5.7	57.1	5.7
応用化学専攻[27]	3.7	7.4	7.4	14.8	63.0	3.7
建築社会基盤系専攻[16]	12.5	6.3	6.3	12.5	62.5	—
機械創造工学系専攻[30]	13.3	—	6.7	13.3	63.3	3.3
応用理化学系専攻[29]	17.2	17.2	6.9	17.2	41.4	—
情報電子工学系専攻[54]	22.2	13.0	11.1	13.0	40.7	—
航空宇宙システム工学専攻[12]	—	16.7	—	8.3	75.0	—
公共システム工学専攻[2]	50.0	—	—	—	50.0	—
数理システム工学専攻[0]	—	—	—	—	—	—
環境創生工学系専攻[42]	33.3	9.5	7.1	9.5	40.5	—
生産システム工学系専攻[47]	23.4	6.4	12.8	10.6	44.7	2.1
上記以外の専攻[18]	—	5.6	22.2	11.1	61.1	—

<これまでの調査との比較>

	建設システム工学専攻	機械システム工学専攻	情報工学専攻	電気電子工学専攻	材料物性工学専攻	応用化学専攻	建築社会基盤系専攻	機械創造工学系専攻
平成16年度(163)	12.9	19.0	14.7	16.6	20.9	16.0	—	—
平成19年度(186)	12.9	19.9	17.2	18.3	16.7	15.1	—	—
平成21年度(226)	12.8	22.6	11.9	17.7	17.7	17.3	—	—
平成24年度(128)	12.5	14.8	21.1	13.3	9.4	14.8	—	—
平成27年度(222)	7.2	15.8	4.5	9.9	8.1	6.3	4.5	11.3
平成30年度(445)	5.6	9.2	5.8	9.2	7.9	6.1	3.6	6.7

	応用理化学系専攻	情報電子工学系専攻	航空宇宙システム工学専攻	公共システム工学専攻	数理システム工学専攻	環境創生工学系専攻	生産システム工学系専攻	上記以外の専攻
平成16年度(163)	—	—	—	—	—	—	—	—
平成19年度(186)	—	—	—	—	—	—	—	—
平成21年度(226)	—	—	—	—	—	—	—	—
平成24年度(128)	—	—	—	—	—	—	—	14.1
平成27年度(222)	10.8	9.5	6.8	0.9	—	—	—	4.5
平成30年度(445)	6.5	12.1	2.7	0.4	—	9.4	10.6	4.0

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の人数について

③大学院博士後期課程修了者

	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体[15]	46.7	46.7	—	—	—	6.7
建設工学専攻[5]	60.0	40.0	—	—	—	—
生産情報システム工学専攻[5]	60.0	40.0	—	—	—	—
物質工学専攻[0]	—	—	—	—	—	—
創成機能科学専攻[1]	—	100.0	—	—	—	—
建設環境工学専攻[1]	100.0	—	—	—	—	—
航空宇宙システム工学専攻[0]	—	—	—	—	—	—
創生機能工学専攻[0]	—	—	—	—	—	—
工学専攻[3]	—	66.7	—	—	—	33.3

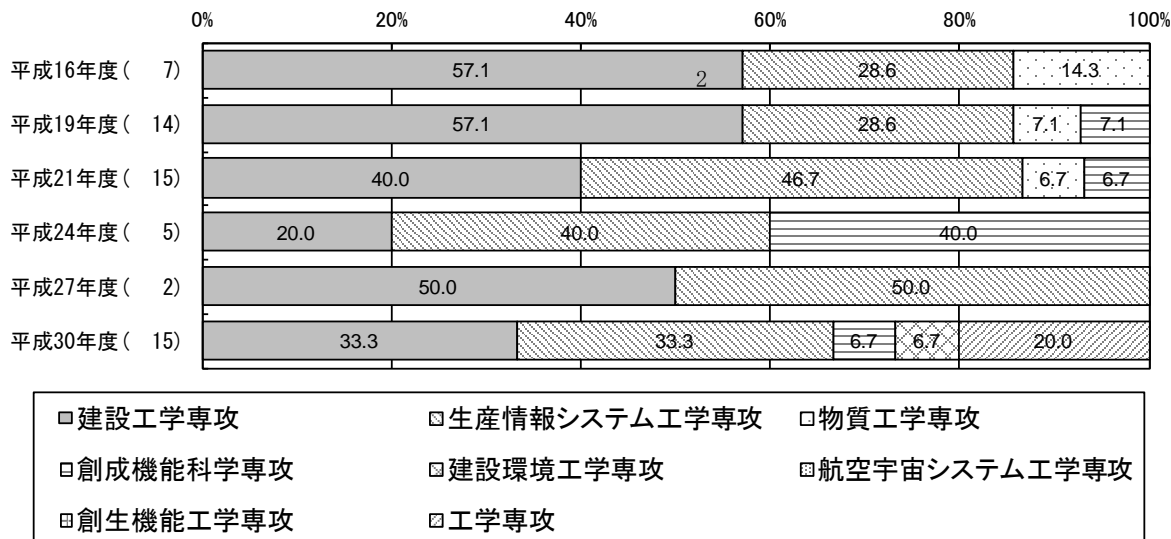
<これまでの調査との比較>

I - 6. 現在、貴社に雇用されている本学卒業者の出身学科等について

③大学院博士後期課程修了者(複数回答)

	建設工学専攻	生産情報システム工学専攻	物質工学専攻	創成機能科学専攻	建設環境工学専攻	航空宇宙システム工学専攻	創生機能工学専攻	工学専攻
平成16年度(7)	57.1	28.6	14.3	—	—	—	—	—
平成19年度(14)	57.1	28.6	7.1	7.1	—	—	—	—
平成21年度(15)	40.0	46.7	6.7	6.7	—	—	—	—
平成24年度(5)	20.0	40.0	—	40.0	—	—	—	—
平成27年度(2)	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—
平成30年度(15)	33.3	33.3	—	6.7	6.7	—	—	20.0

③大学院博士後期課程修了者(複数回答)



I-7. 本学卒業者の職種

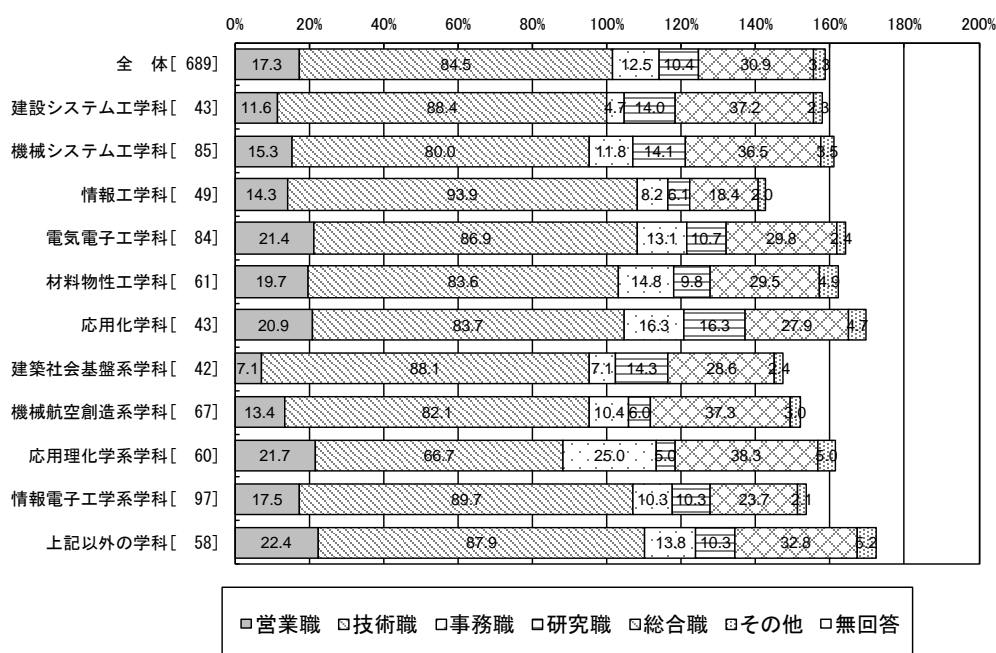
学部卒業者に関しては、平成30年度調査で技術職が84.5%、次いで総合職が30.9%、営業職が17.3%となっている。

学部卒業者全体で平成16年度からの職種別の推移を鳥瞰すると、技術職は84%~92%の範囲で推移、研究職は20%~10%で減少傾向、総合職が14%~31%で増加傾向にあるといえよう。

I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか
①学部卒業者（複数回答）

	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
全体[689]	17.3	84.5	12.5	10.4	30.9	3.3	—
建設システム工学科[43]	11.6	88.4	4.7	14.0	37.2	2.3	—
機械システム工学科[85]	15.3	80.0	11.8	14.1	36.5	3.5	—
情報工学科[49]	14.3	93.9	8.2	6.1	18.4	2.0	—
電気電子工学科[84]	21.4	86.9	13.1	10.7	29.8	2.4	—
材料物性工学科[61]	19.7	83.6	14.8	9.8	29.5	4.9	—
応用化学科[43]	20.9	83.7	16.3	16.3	27.9	4.7	—
建築社会基盤系学科[42]	7.1	88.1	7.1	14.3	28.6	2.4	—
機械航空創造系学科[67]	13.4	82.1	10.4	6.0	37.3	3.0	—
応用理化学系学科[60]	21.7	86.7	25.0	5.0	38.3	5.0	—
情報電子工学系学科[97]	17.5	89.7	10.3	10.3	23.7	2.1	—
上記以外の学科[58]	22.4	87.9	13.8	10.3	32.8	5.2	—

I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか
①学部卒業者（複数回答）



<これまでの調査との比較>

I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか
①学部卒業者

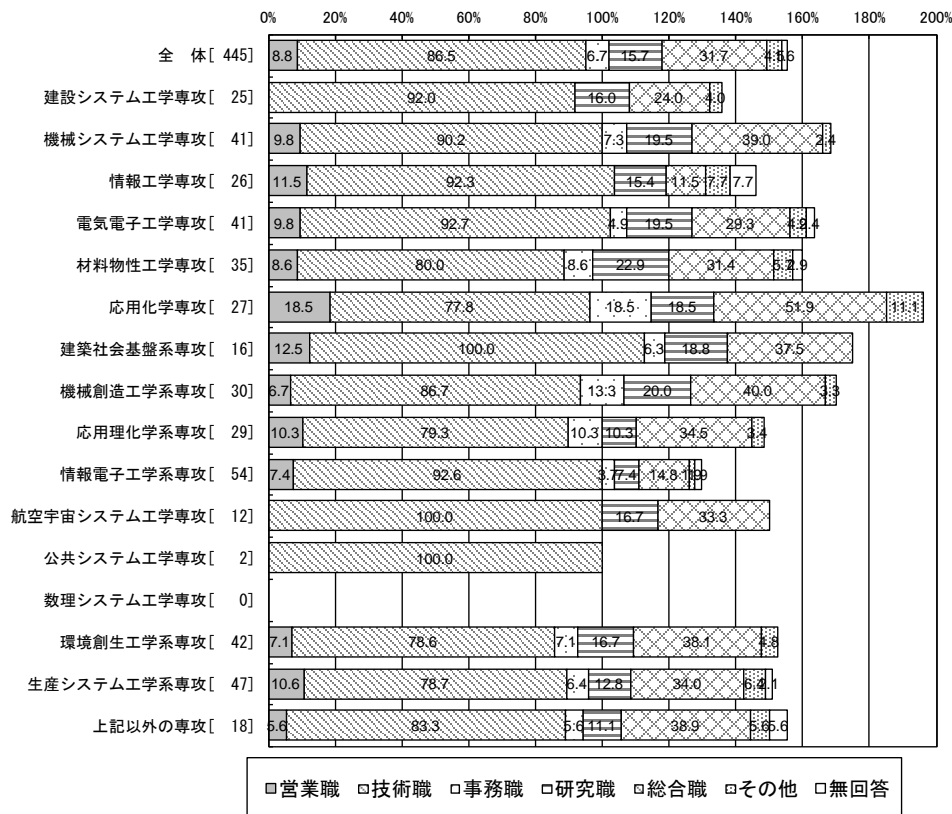
	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
平成16年度(363)	16.3	90.9	1.4	19.0	14.3	1.7	—
平成19年度(392)	16.8	91.1	4.8	20.2	21.7	3.6	50.0
平成21年度(393)	20.1	91.1	9.4	20.1	16.0	6.9	50.0
平成24年度(327)	15.0	84.1	7.3	13.1	19.9	0.6	50.0
平成27年度(357)	12.3	91.6	6.4	17.4	23.2	3.1	50.0
平成30年度(689)	17.3	84.5	12.5	10.4	30.9	3.3	—

大学院博士前期(修士)課程修了者については、平成30年度調査で技術職が86.5%、総合職が31.7%、研究職が15.7%となっている。

I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか
②大学院博士前期(修士)課程修了者(複数回答)

	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
全体[445]	8.8	86.5	6.7	15.7	31.7	4.5	1.6
建設システム工学専攻[25]	—	92.0	—	16.0	24.0	4.0	—
機械システム工学専攻[41]	9.8	90.2	7.3	19.5	39.0	2.4	—
情報工学専攻[26]	11.5	92.3	—	15.4	11.5	7.7	7.7
電気電子工学専攻[41]	9.8	92.7	4.9	19.5	29.3	4.9	2.4
材料物性工学専攻[35]	8.6	80.0	8.6	22.9	31.4	5.7	2.9
応用化学専攻[27]	18.5	77.8	18.5	18.5	51.9	11.1	—
建築社会基盤系専攻[16]	12.5	100.0	6.3	18.8	37.5	—	—
機械創造工学系専攻[30]	6.7	86.7	13.3	20.0	40.0	3.3	—
応用理化学系専攻[29]	10.3	79.3	10.3	10.3	34.5	3.4	—
情報電子工学系専攻[54]	7.4	92.6	3.7	7.4	14.8	1.9	1.9
航空宇宙システム工学専攻[12]	—	100.0	—	16.7	33.3	—	—
公共システム工学専攻[2]	—	100.0	—	—	—	—	—
数理システム工学専攻[0]	—	—	—	—	—	—	—
環境創生工学系専攻[42]	7.1	78.6	7.1	16.7	38.1	4.8	—
生産システム工学系専攻[47]	10.6	78.7	6.4	12.8	34.0	6.4	2.1
上記以外の専攻[18]	5.6	83.3	5.6	11.1	38.9	5.6	5.6

I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか
②大学院博士前期(修士)課程修了者(複数回答)



<これまでの調査との比較>

I-7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか
②大学院博士前期(修士)課程修了者

	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
平成16年度(163)	5.5	85.9	0.6	31.9	8.0	0.6	1.2
平成19年度(186)	7.5	84.4	4.3	29.6	24.2	5.4	2.7
平成21年度(226)	8.4	88.9	0.4	32.3	19.5	2.7	0.9
平成24年度(128)	8.6	85.9	8.6	14.1	24.2	0.8	1.6
平成27年度(222)	3.6	90.1	4.1	24.3	24.8	1.4	2.3
平成30年度(445)	8.8	86.5	6.7	15.7	31.7	4.5	1.6

大学院博士後期課程修了者については、平成 30 年度調査で技術職が 73.3%、研究職 33.3%となっている。

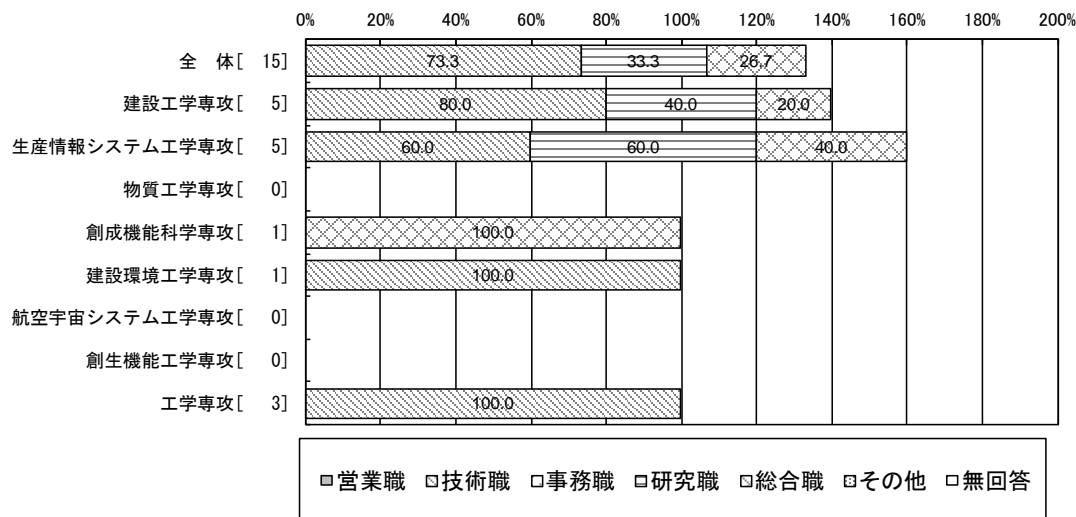
I - 7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか

③大学院博士後期課程修了者（複数回答）

	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
全体[15]	—	73.3	—	33.3	26.7	—	—
建設工学専攻[5]	—	80.0	—	40.0	20.0	—	—
生産情報システム工学専攻[5]	—	60.0	—	60.0	40.0	—	—
物質工学専攻[0]	—	—	—	—	—	—	—
創成機能科学専攻[1]	—	—	—	—	100.0	—	—
建設環境工学専攻[1]	—	100.0	—	—	—	—	—
航空宇宙システム工学専攻[0]	—	—	—	—	—	—	—
創生機能工学専攻[0]	—	—	—	—	—	—	—
工学専攻[3]	—	100.0	—	—	—	—	—

I - 7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか

③大学院博士後期課程修了者（複数回答）



<これまでの調査との比較>

I - 7. 貴社での本学卒業者の職種は一般にどの職種に該当しますか

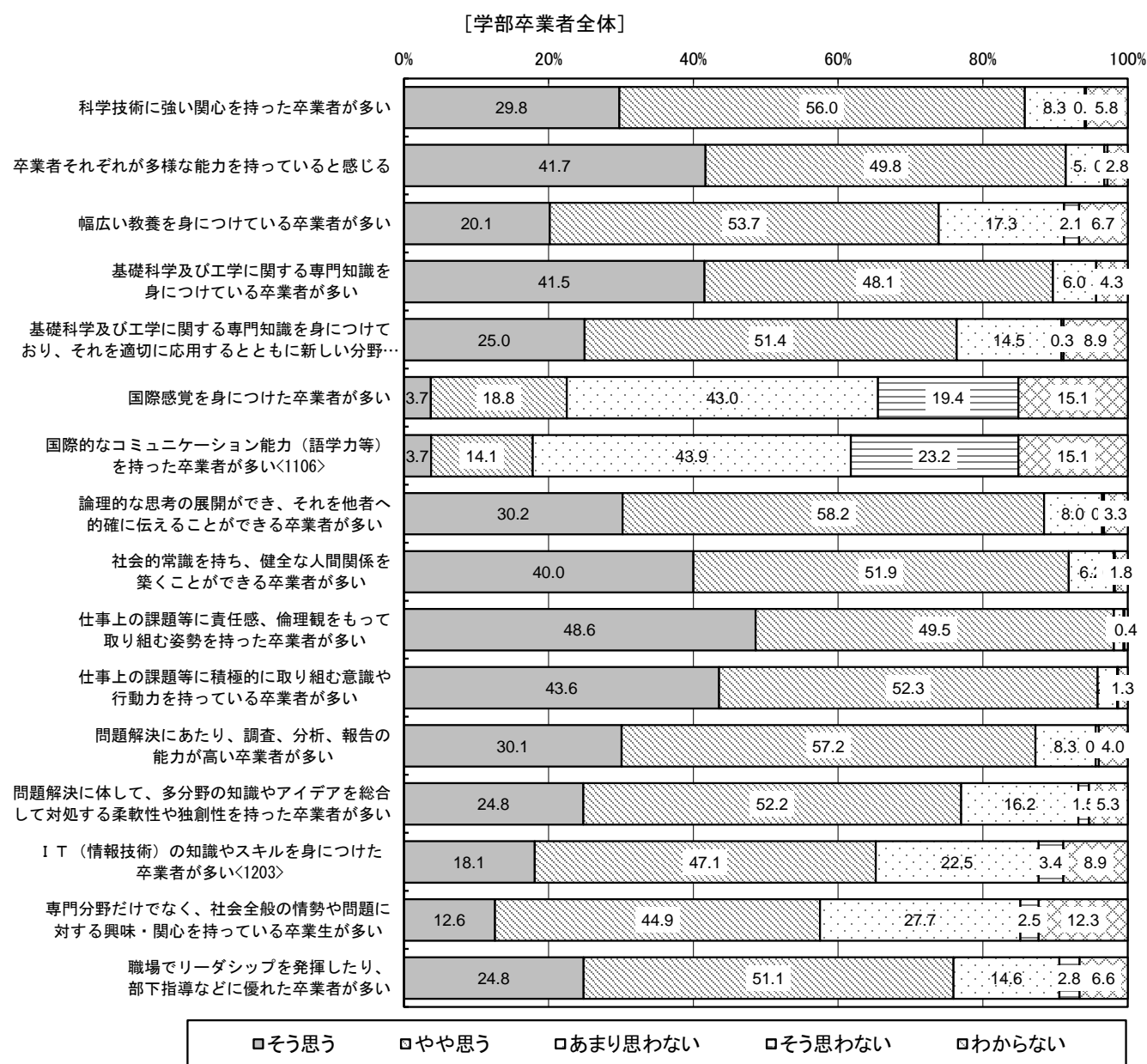
③大学院博士後期課程修了者

	営業職	技術職	事務職	研究職	総合職	その他	無回答
平成16年度(7)	—	71.4	—	71.4	42.9	—	—
平成19年度(14)	14.3	71.4	—	14.3	14.3	—	14.3
平成21年度(15)	—	60.0	6.7	13.3	26.7	—	6.7
平成24年度(5)	—	100.0	—	—	—	—	—
平成27年度(2)	—	—	—	100.0	100.0	—	—
平成30年度(15)	—	73.3	—	33.3	26.7	—	—

Ⅱ-1. 本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

学部卒業生全体で、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた肯定的意見の割合が高い項目は、「仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業生が多い」(98.1%)、「仕事上の課題等に積極的に取り組む意識や行動力を持っている卒業生が多い」(95.9%)、「社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業生が多い」(91.9%)などが挙げられる。一方、印象度の低いものは、「国際的なコミュニケーション能力(語学力等)を持った卒業生が多い」(17.8%)、「国際感覚を身につけた卒業生が多い」(22.5%)などである。

本調査は平成16年度以降3年ごとに実施しており今回で6回目である。次ページの結果にみるように、全体としての肯定的割合は増加傾向にあるといえよう。



II-1. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想 (1/2)

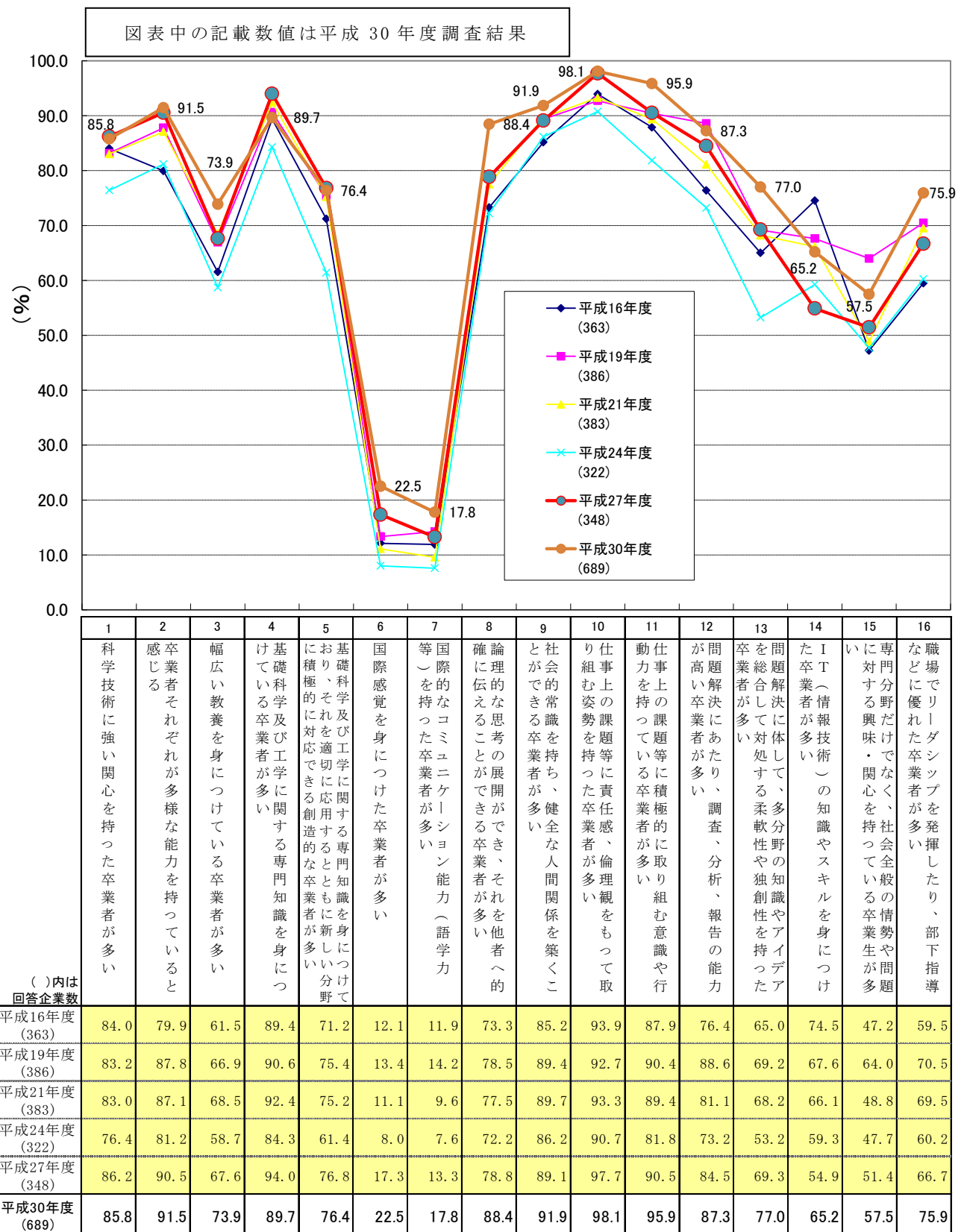
①学科卒業者 全体		そう思 う	やや思 う	あまり 思わな い	そう思 わない	わから ない	肯定的 意見
科学技術に強い関心を持った 卒業者が多い	平成16年度(368)	33.1	51.0	9.1	1.4	5.5	84.0
	平成19年度(392)	29.0	54.1	11.4	1.0	4.4	83.2
	平成21年度(393)	24.0	59.0	7.3	1.3	8.4	83.0
	平成24年度(327)	19.9	56.5	13.0	1.2	9.3	76.4
	平成27年度(357)	33.0	53.2	6.9	—	6.9	86.2
	平成30年度(689)	29.8	56.0	8.3	0.1	5.8	85.8
卒業者それぞれが多様な能力 を持っていると感じる	平成16年度(368)	25.0	54.9	15.9	1.6	2.5	79.9
	平成19年度(392)	28.3	59.5	9.1	0.3	2.9	87.8
	平成21年度(393)	24.5	62.5	9.0	—	3.9	87.1
	平成24年度(327)	24.1	57.1	12.7	1.5	4.6	81.2
	平成27年度(357)	38.7	51.9	7.2	—	2.3	90.5
	平成30年度(689)	41.7	49.8	5.3	0.4	2.8	91.5
幅広い教養を身につけている 卒業者が多い	平成16年度(368)	9.1	52.5	29.9	3.0	5.5	61.5
	平成19年度(392)	14.3	52.6	28.1	0.5	4.4	66.9
	平成21年度(393)	9.4	59.1	22.4	2.1	7.0	68.5
	平成24年度(327)	9.3	49.4	30.4	3.7	7.1	58.7
	平成27年度(357)	18.9	48.7	28.1	0.3	4.0	67.6
	平成30年度(689)	20.1	53.7	17.3	2.1	6.7	73.9
基礎科学及び工学に関する専 門知識を身につけている卒業 者が多い	平成16年度(368)	34.6	54.7	7.3	0.8	2.5	89.4
	平成19年度(392)	37.4	53.2	6.5	0.5	2.3	90.6
	平成21年度(393)	34.4	58.1	3.9	—	3.6	92.4
	平成24年度(327)	32.4	51.9	5.9	2.2	7.7	84.3
	平成27年度(357)	32.7	61.3	3.4	—	2.6	94.0
	平成30年度(689)	41.5	48.1	6.0	—	4.3	89.7
基礎科学及び工学に関する専 門知識を身につけており、それ を適切に応用するとともに新 しい分野に積極的に対応でき る創造的な卒業者が多い	平成16年度(368)	18.3	52.9	18.8	3.3	6.6	71.2
	平成19年度(392)	17.1	58.3	18.7	1.6	4.4	75.4
	平成21年度(393)	13.8	61.4	11.5	0.5	12.8	75.2
	平成24年度(327)	14.8	46.6	26.2	2.5	9.9	61.4
	平成27年度(357)	20.3	56.4	16.9	0.3	6.0	76.8
	平成30年度(689)	25.0	51.4	14.5	0.3	8.9	76.4
国際感覚を身につけた卒業者 が多い	平成16年度(368)	—	12.1	51.2	15.4	21.2	12.1
	平成19年度(392)	0.8	12.6	61.3	12.6	12.8	13.4
	平成21年度(393)	0.8	10.3	50.4	21.4	17.1	11.1
	平成24年度(327)	1.2	6.8	53.4	17.6	21.0	8.0
	平成27年度(357)	3.8	13.6	54.3	15.3	13.0	17.3
	平成30年度(689)	3.7	18.8	43.0	19.4	15.1	22.5
国際的なコミュニケーション 能力(語学力等)を持った卒 業者が多い<1106>	平成16年度(368)	—	11.9	49.0	20.8	18.3	11.9
	平成19年度(392)	0.5	13.7	49.2	25.4	11.1	14.2
	平成21年度(393)	0.5	9.0	54.8	24.8	10.9	9.6
	平成24年度(327)	—	7.6	46.5	24.4	21.5	7.6
	平成27年度(357)	2.3	11.0	52.7	19.0	15.0	13.3
	平成30年度(689)	3.7	14.1	43.9	23.2	15.1	17.8
論理的な思考の展開ができ、そ れを他者への確に伝えること ができる卒業者が多い	平成16年度(368)	18.5	54.8	20.7	1.4	4.7	73.3
	平成19年度(392)	16.1	62.4	15.0	1.3	5.2	78.5
	平成21年度(393)	12.4	65.1	16.8	0.3	5.4	77.5
	平成24年度(327)	14.5	57.7	17.6	1.5	8.6	72.2
	平成27年度(357)	20.9	58.0	15.9	1.7	3.5	78.8
	平成30年度(689)	30.2	58.2	8.0	0.3	3.3	88.4

Ⅱ-1. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想 (2/2)

①学科卒業者 全体		そう思 う	やや思 う	あまり 思わな い	そう思 わない	わから ない	肯定的 意見
社会的常識を持ち、健全な人間関係を築くことができる卒業者が多い	平成16年度(368)	22.0	63.2	10.4	0.3	4.1	85.2
	平成19年度(392)	33.4	56.0	8.0	0.3	2.3	89.4
	平成21年度(393)	25.3	64.3	5.2	0.5	4.7	89.7
	平成24年度(327)	24.9	61.2	7.4	3.1	3.4	86.2
	平成27年度(357)	34.1	55.0	8.6	—	2.3	89.1
	平成30年度(689)	40.0	51.9	6.2	0.1	1.8	91.9
仕事上の課題等に責任感、倫理観をもって取り組む姿勢を持った卒業者が多い	平成16年度(368)	35.0	59.0	3.6	0.3	2.2	93.9
	平成19年度(392)	43.0	49.7	4.2	0.8	2.3	92.7
	平成21年度(393)	38.8	54.5	1.6	—	5.2	93.3
	平成24年度(327)	27.8	63.0	4.6	1.2	3.4	90.7
	平成27年度(357)	42.0	55.7	1.1	—	1.1	97.7
	平成30年度(689)	48.6	49.5	1.3	0.1	0.4	98.1
仕事上の課題等に積極的に取り組む意識や行動力を持っている卒業者が多い	平成16年度(368)	33.3	54.5	8.3	0.6	3.3	87.9
	平成19年度(392)	37.8	52.6	6.7	0.3	2.6	90.4
	平成21年度(393)	33.7	55.7	3.9	0.5	6.2	89.4
	平成24年度(327)	26.5	55.4	13.5	0.6	4.0	81.8
	平成27年度(357)	39.4	51.1	8.3	—	1.1	90.5
	平成30年度(689)	43.6	52.3	2.7	0.1	1.3	95.9
問題解決にあたり、調査、分析、報告の能力が高い卒業者が多い	平成16年度(368)	20.9	55.5	18.7	0.3	4.7	76.4
	平成19年度(392)	22.0	66.6	8.0	0.3	3.1	88.6
	平成21年度(393)	20.7	60.5	10.6	0.3	8.0	81.1
	平成24年度(327)	14.8	58.5	15.4	1.5	9.8	73.2
	平成27年度(357)	26.7	57.8	12.1	—	3.4	84.5
	平成30年度(689)	30.1	57.2	8.3	0.4	4.0	87.3
問題解決に体して、多分野の知識やアイデアを総合して対処する柔軟性や独創性を持った卒業者が多い	平成16年度(368)	16.3	48.8	25.3	1.9	7.7	65.0
	平成19年度(392)	17.6	51.6	24.9	0.3	5.7	69.2
	平成21年度(393)	12.1	56.1	16.8	2.3	12.7	68.2
	平成24年度(327)	8.6	44.6	31.1	3.4	12.3	53.2
	平成27年度(357)	15.8	53.4	23.9	0.9	6.0	69.3
	平成30年度(689)	24.8	52.2	16.2	1.5	5.3	77.0
IT(情報技術)の知識やスキルを身につけた卒業者が多い<1203>	平成16年度(368)	15.5	59.0	17.2	1.7	6.6	74.5
	平成19年度(392)	22.3	45.3	26.2	1.3	4.9	67.6
	平成21年度(393)	18.6	47.5	19.1	—	14.7	66.1
	平成24年度(327)	17.9	41.4	26.9	1.9	12.0	59.3
	平成27年度(357)	18.4	36.5	31.3	2.0	11.8	54.9
	平成30年度(689)	18.1	47.1	22.5	3.4	8.9	65.2
専門分野だけでなく、社会全般の情勢や問題に対する興味・関心を持っている卒業生が多い	平成16年度(368)	6.7	40.6	35.8	2.5	14.4	47.2
	平成19年度(392)	8.0	56.0	28.0	2.8	5.2	64.0
	平成21年度(393)	7.0	41.9	30.7	3.9	16.5	48.8
	平成24年度(327)	7.1	40.6	35.1	3.7	13.5	47.7
	平成27年度(357)	12.1	39.4	34.8	1.7	12.1	51.4
	平成30年度(689)	12.6	44.9	27.7	2.5	12.3	57.5
職場でリーダーシップを発揮したり、部下指導などに優れた卒業者が多い	平成16年度(368)	16.5	43.0	31.7	2.2	6.6	59.5
	平成19年度(392)	17.1	53.4	22.3	1.6	5.7	70.5
	平成21年度(393)	13.2	56.3	20.9	1.8	7.8	69.5
	平成24年度(327)	10.6	49.7	24.8	1.9	13.0	60.2
	平成27年度(357)	20.7	46.0	22.7	1.1	9.5	66.7
	平成30年度(689)	24.8	51.1	14.6	2.8	6.6	75.9

II-1. 教育目標に関連して、本学卒業者の意識や身につけている能力についての感想

(過去調査比較)



※平成16年度～平成27年度の回答企業数は160社前後であったが、今回調査では回収率が非常に高く、回答企業数298社であることから、延べ回答企業数は689社となっている。

<P.4 I. 調査の概要 ⑤集計・分析にあたっての回答企業の処理参照>

II-2. 本学の学生への教育活動についての感想

本学の学生への教育活動について、「全体として熱心だと感じる」「どちらかといえば熱心だと感じる」の肯定的意見は91.7%。

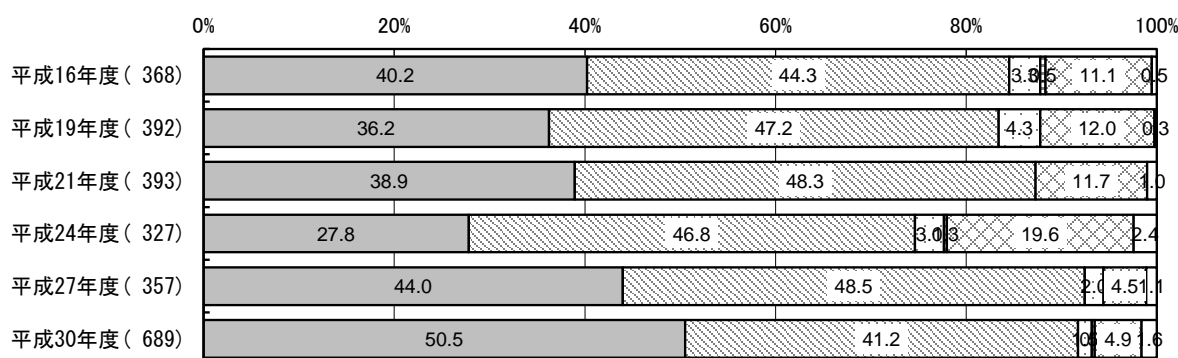
<これまでの調査との比較>でみると、積極的な肯定意見である「全体として熱心だと感じる」割合は、前回(平成27年度)調査で大きく高まった(平成24年27.8%⇒平成27年44.0%)が、更に今回6.5%増加(平成27年44.0%⇒平成30年度50.5%)している。

II-2. 卒業者からの印象やあなたをご存知の範囲で、本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか<0412>

	全体として熱心だと感じる	どちらかといえば熱心だと感じる	あまり熱心とは感じない	熱心であると感じない	何ともいえない、わからない	無回答	肯定的意見
全体[689]	50.5	41.2	1.5	0.3	4.9	1.6	91.7
建設システム工学科[43]	53.5	39.5	2.3	—	2.3	2.3	93.0
機械システム工学科[85]	49.4	44.7	—	—	5.9	—	94.1
情報工学科[49]	53.1	36.7	2.0	2.0	2.0	4.1	89.8
電気電子工学科[84]	58.3	33.3	2.4	1.2	2.4	2.4	91.7
材料物性工学科[61]	45.9	45.9	3.3	—	3.3	1.6	91.8
応用化学科[43]	44.2	46.5	—	—	9.3	—	90.7
建築社会基盤系学科[42]	50.0	40.5	—	—	7.1	2.4	90.5
機械航空創造系学科[67]	55.2	38.8	1.5	—	3.0	1.5	94.0
応用理化学系学科[60]	43.3	48.3	—	—	6.7	1.7	91.7
情報電子工学系学科[97]	53.6	35.1	3.1	—	7.2	1.0	88.7
上記以外の学科[58]	43.1	50.0	—	—	5.2	1.7	93.1

<これまでの調査との比較>

II-2. 卒業者からの印象やあなたをご存知の範囲で、本学の学生への教育活動について、どう感じておられますか<0412>



- 全体として熱心だと感じる
- どちらかといえば熱心だと感じる
- あまり熱心とは感じない
- 熱心であると感じない
- 何ともいえない、わからない
- 無回答

Ⅱ-3. 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点（自由回答）

本学の教育面での感想や要望が数多く寄せられた。便宜的にいくつかの観点から大まかに整理して原文のまま掲載した。

Ⅱ-3. 今後、本学が教育面で強化すべきテーマや努力すべき点

コミュニケーション能力

いわゆるコミュニケーション能力、協調性は、充分、身に付けてほしいと思います。

大人しい学生さんが、多い印象です。他校との交流等、コミュニケーションの積極性を磨く機会を増やして頂けると良いかと思いました。

科学・技術の知識向上に偏ることなく、協調性やコミュニケーション能力の向上も強化してほしいと思います。

技術面に強い印象がありますが、コミュニケーション面で、弱い印象があります。

現時点でも満足しているが、強いて言うなら、コミュニケーション能力か。

コミュニケーション(発信力)。

コミュニケーション能力。

コミュニケーション能力。

コミュニケーション能力の向上。

コミュニケーション能力を高めるプログラムを身に付けさせて頂きたい。どちらかという、大人しい印象です。

コミュニケーションの力、報告する等の力。知識ではなく、会話力等。

社会へ出でのコミュニケーション術等のレベルアップがあると良い。

柔軟なコミュニケーション能力と、他者を巻き込むリーダーシップがあると良いと思います。

高い専門性があるものの、それらを外部に発信することは、やや苦手な印象。多くの学生には、もっと自信を持ってほしい。

内向的な学生が多い印象。多くの人と関わりながら取り組む形の教育を強化した方が良いように思う。

専門知識・専門能力

- ・社会人として乗り越えていける、メンタル的な強化も身に付けてほしい。
- ・ICT(情報通信技術)等、将来を見据えた知識の習得。

学生各々に、コア技術を身に付けて頂きたい。

貴学に限った話ではありませんが、運転支援システムの制御開発に資する学生様を求めています。機械+電気+情報のイメージです。

技術系の学生が、将来、その分野で活躍することを望むのであれば、関連資格の取得に係わるバックアップをして頂きたい。資格は、必要最低限となります。例えば、建設系だと、技術士・建築士・施工管理技士・診断士等。

建築設計の分野においては、技術的な指導・教育をお願いしたい。

工学に関する専門知識について、基礎から、ある程度の応用までの筋の通った教育を実践し、多分野の専門家を輩出して頂きたいです(例えば、電気電子系であれば、「私は電気電子工学の学位を取得しました」と、堂々と胸を張れるような方をこれからも輩出して頂きたいです)。

最先端技術の教育。

情報系の学生であれば、IPAの基本情報技術者試験は、是非、受験済みにして頂きたいです。

専門基礎科目の徹底教育。
チーム内の役割を全うする経験。

素材材離れが進む日本の教育の中でも、地理的要因を考慮され、材料系は、今後も強化して欲しい。

電気工学の基礎知識と電気実験の経験。
自身の考えを整理して、端的に説明することができるよう指導して下さい。

語学力・国際感覚

1-⑦、企業規模の大小に関わらず、米、欧、アジアとのコミュニケーションを図るケースは今後増々多く、通常のこととなる為、語学力、表現力の向上は必要であると感ずる。

英語や中国語等の語学教育を含め、グローバルな人材の育成が必要かと思われる。

貴学生に限ったことではありませんが、地元地域に留まらず、視野を大きく広げて、社会全体で活躍していく、幅広い視点意識を持てるような意識付けをお願い致します。北海道内に限った活躍は、もったいないと感じております。

グローバル感覚を伸ばすような語学や文化に対して、習得できるような機会があると良いと思います。

語学(特に英語)に対して、より力を入れて頂きたいと思います。卒業者の大半が、英語に対して、危機感を持っていない傾向があります。

国際感覚、語学を含めたコミュニケーション能力について、更なる教育を期待しております。

国際感覚を身に付ける施策を積極的に導入して頂きたい。低学年より今後のキャリアについて、考えるきっかけづくりを進めて頂きたい。

全体的に、語学(英語)に弱い印象があります。

全体的に、語学力(英語)に苦手意識を持つ卒業生が多い。

当社に於いては、海外勤務や出張の機会が多いので、語学や国際感覚を身に付けた方が増えると良いと思います。

基礎学力・基礎技術力

御校に関してと言うよりは、一般論として、実業務に必要とされる実践的手法は、入社後、責任を持って教育出来ます。学校では、アカデミックな教育・研究を望みます。

企業の現場で働く際、専攻と異なる分野の業務に就くことや、就職後も、学習等が求められることが多い。専門分野以外でも、広く基礎知識を養うカリキュラムを希望したい。

基礎学力の維持・向上。

個々の能力の差は、あって当たり前と思っておりますが、特に近年では、学生の基礎学力に大きな差があると感じます。基礎学力は、学生時代に十分に養って頂きたいということが企業側の要望です。

社会人になる為の基礎を修得できるような教育を求めます。

引き続き、基礎学力及び幅広い教養の教育に、注力頂ければと存じます。

表面的な技術やツールを使ったものではなく、基礎的な理論から身に付けてほしい。

柔軟性・独創性

Ⅱ、1、⑬の設問の内容が高められると、より良いと思います。

技術的な面での能力が高いだけでなく、教えたことへの応用力や理解力が、ずば抜けて高いと感じています。一方で、室工大の生徒さんに限ったことではありませんが、自分のポリシーのようなものを持っていて、納得できないことに対しては、なかなか取り入れない頑固さが見受けられます。

個人的な話になってしまうので、全体的な問題で言えば、「自発的行動出来る」「新しいものに興味を持つ」ことの出来る学生が、望まれると考えます。

論理的な思考、コミュニケーション、自由な発想。

論理的に意見をまとめ、発言する能力は高いと感じています。柔軟な発想に基づくデザイン力の強化を期待致します。

プレゼンテーション能力

- ・研究や思考した内容を発表・報告する力は、今後の社会で活躍する上で、重要な能力であると感じます。
 - ・原因と結果や、目的と手段等、これらに関連付けて検討する力も、同様に重要であると感じます。
-

遠慮せず、もっと積極的な姿勢を見せてくれると良いと思います。アイデアや能力があっても、アウトプットしていかないと勿体無いですし、気付いてもらえないかもしれません。

自分の考えを言葉(話し言葉、文章)でもって、正確に伝える能力。

説明会等でお会いした学生さんは、大人しい方が多いように感じています。能力の高い学生さんが多いだけに、もっと目立って良いと思います。

リーダーシップの発揮

貴大学卒業生は数字に強く、真面目に仕事に取り組む社員が多い印象です。自分の領域については、正確かつ確実に熟することが出来る社員が多い反面、チームとして仕事をする場合に、リーダーシップを発揮する社員が、少ない印象を受けます。

コミュニケーション力、リーダーシップ、部下指導への積極性。

自分や自分達(チーム等)の状況を認識し、克服すべき問題を明らかにし、解決していく能力や意志(力)を育てていってほしい。

職場で、リーダーシップを発揮出来る人材。

一般常識・社会性

II-3 今後、本学に求められる教育面で強化すべきテーマや努力すべき点

あともう少し社会性が高ければ、あらゆる分野で活躍できる人材が増えると思います。

貴学に限った内容ではありませんが、社交性・協調性・自律性等。

社会性、コミュニケーション能力。

課題解決力

物事の本質を捉え、課題の解決の為に、論理的に、根気強く考える力を育成して頂きたいです。

問題解決する場合、自分の意見を出した上で、どう解決出来るか、提案出来る人材がほしい。

総合・その他

①国際感覚、語学等のスキルを更に向上させることを強化されてはどうでしょうか。

②物事に対する積極的アプローチ等の対応力を強化されてはどうでしょうか。

JABEEの継続。

北海道の復興・発展を担える人材を育成する教育。

学内だけではなく、学会等、学外での活動でも、活躍頂きたいです

昨年入社した男性は優秀で、既に担当部署の取りまとめを担う成長を続けています。反面、過去入社した男性は伸び悩んでおり、個人差が大きいと感じています。学生水準の平準化をお願いしたい。

自分や大学に自信を持つ。

社会に出るまでに身に付けるべきコミュニケーションについて(特に、人間関係のつくり方)。

中小企業を知る機会を増やして頂きたい。

世の中にある仕事についての知識を深めて頂きたい。

就職活動について、学生本人に任せきりではなく、インターンシップをカリキュラムの一つに組み込む等、必要と思われる。また、グループワークやディスカッションする場を増やし、能動的に考え、リーダーシップ能力を高める土台を作ってほしいです。

地域(北海道)に、もっと密着・関心を持って頂けるような学生さんを育ててほしいです。

優秀な学生が多いと見受けられますので、学生に費用負担があまり掛らない形で、一層、専門的に、または、社会で即座に役立つような勉強ができる環境が増えると良いと思います。道内出身者の本州へのインターンシップ機会の強化もお勧めしたいです。

印象・感想など

2017年に、大学院卒業生を1名採用させて頂きました。大学院の選考とは掛け離れた、「ものづくり企業」に入社しました。本人の資質が高いこともあり、将来、有望な戦力として成長しています。論理的な思考の展開が出来ている点は、特に素晴らしいと、評価しています。

これまでも、北海道に資する研究や教育に取り組まれておられますが、今後も益々の御検討を期待しております。

情報工学、電気電子工学系の研究室での学生の皆さんの活動は、大変伸び伸びとされていて、好感をもって拝見しています。この雰囲気をご大事にして頂きたいと思っております。

独自に、明確なビジョンを持って、教育にあたられていると感じています。

本人が、これから科目就職又は資格取得して働くという、意識が足りなかったのではないかと。入学時に設計関係の仕事で働くという動機が見られなかったように思います。当社は、プロポーザルコンペ10社応募(官庁)最優秀作品として、当選建物50億工事費。現在、基本・実施設計完了、工事管理平成31年迄実施中。受注先は、マンション官公庁主。

リーダーとして活躍出来る、素晴らしい人材に多く入社頂いているので、引き続きの教育活動をお願い致します。

Ⅱ-4. 本学全般についてのご意見、ご要望(自由回答)

本学全般についての意見や要望が数多く寄せられた。便宜的にいくつかの観点から大まかに整理して原文のまま掲載した。

本欄への記載については、意見・要望よりも卒業者の活躍や今後の人材輩出に対する期待などが多くを占めており、本学と回答企業との深い関係性や信頼感が感じられた。

一方、本学のみに対してではないが、企業が求めているコミュニケーション・プレゼンテーション能力強化への希望記述が複数あった。

Ⅱ-4. その他 本学全般について、ご意見、ご要望などがあれば自由にお書きください

コミュニケーション・プレゼンテーション能力の強化

時代は、個々の時代と言われるが、団体生活(寮を必須とまでは言わない)を経験する環境の中で、チームビルディング/リーダーシップを備える人材育成を期待する。

全体的に、皆さん大人しい印象があります。自身の思いをしっかりと表現するといった機会を学習の中に、どんどん取り入れていって頂ければと思います。

とても真面目で、熱心な学生さんが多いと感じます。研究室で、上下関係もしっかり学んでいると思いますが、自分の研究室の中での関係作りだけでなく、視野を広げ、多くの人と接する機会があれば良いな、と感じることもございます。

専門知識を持つ学生の育成

様々な大学が組織改編に動いて(そうせざるを得ない状況になってしまって)らっしゃいますが、その分、「昔ながらの電気工学」というような、クラシックな学部学科が、貴重な存在になっていっているように思います。誤解を招く言い方かもしれませんが、当社含め、貴学に伝統的なものを求めている企業は、少なくないのではないかと思います。是非、最前線で学生と関わる教授方のお声も、重視して頂ければと思います。

素形材離れが進む日本の教育の中でも、地理的要因を考慮され、材料系は、今後も強化して欲しい。

就職指導や企業連携への希望

岩手県出身者に、是非、当社を紹介してほしい。

多くの学生さんに当社を知って頂くためにも、校内の説明会のようなものがあれば、是非、お声掛け頂けると幸いです。情報工学部の方に限らず、高い能力を持った方々と話す機会があればありがたいです。

学生の就職先で、道内企業の優先順位が低い。同窓会と強く連携して、道内企業の魅力を伝える努力をお願いしたい。

学内インターンシップ説明会等があれば、是非、お声掛け頂きたく、宜しくお願い致します。

学内にて、企業説明会等のご案内を頂ければ、積極的に、参加を検討していきたい。

貴学学生の採用の為、学内の企業説明会等の情報について、提供を希望致します。

貴学の卒業生が一名しか在職しておらず、今後の入社を強く希望します。平成29年12月、経済産業大臣より、地域未来牽引企業の選定証を受証しております。

企業説明会やインターンシップといった、大学側と企業側の接点となる場や情報を発信して頂きたいです。

ここ数年、インターンシップでの出会いが出来ておりませんので、インターンシップにご参加頂けると幸いです。

今後とも卒業生を採用させて頂きたく、会社説明会へのエントリーを引き続きお願いします。

今年度も、貴大学出身学生2名が弊社に入社し、各部署で活躍しております。貴大学主催の業界セミナーや、学内合同説明会等の実施をご予定でしたら、弊社も是非、参加させて頂きたくお願い致します。

採用活動に関する合同企業説明会に、今後、是非、参加させて頂きたいと存じます。御案内頂きたく、お願い致します。

採用していきたいので、接点がほしいです。

就業支援活動について、積極的な取組みを望みます。

主担当になり1年目なので、これからも訪問をして、密な関係を持ちたいと思います。

是非とも採用活動を継続していきたいと率直に思っています。OB・OG懇談会、合同業界研究会等に参加させて頂く機会が、もし頂けるのであれば、宜しくお願い致します。

是非とも当社に、御校の優秀な学生様をご紹介頂きたいです。

前記の通り、室工大卒業生は評判が良いので、やる気がある卒業生は、若干名採用の意向があります(渡島・桧山卒業生尚可)。

この時期の採用面接に、間に合うのでしょうか。

他大学と比べて、SPIの合格率が低い為、ある程度の準備をしてきてほしい。

地域性を大事にした大学との印象が強く、北海道に拠点が無い当社への応募者は、多くない。今後、エンジニアは、国内はもとより、海外赴任も当然視されており、道外への企業見学等の機会を充実させてほしい。

地理的に遠いという事情はあるが、採用に関しての情報が少ないので、リクルートが難しいと感じます。中小にも、門戸を開いて頂ければと思います(うちは、中小以下ですが…)。

道外企業という選択肢を学生の方に、もっと持って頂きたいと考えてはおります(なかなか難しいですが…)。こちらも魅力発信に努めてまいります。

東京事務所を開設し、本社の人事担当者との交流を深めてほしい。

当社のように、無名な会社のことを学生に知ってもらう機会を頂きたい。通常の合同企業説明会では学生がブースに来ない。

本州方面への就職者が多いと思われませんが、北海道の産業を支えるべく、地元への就職に向けた活動を頂けると、地域のプラスになると思います。

感想・期待

「理工学部」2学科体制への再編、また、建築土木工学コースの復活に、御期待申し上げます。

いつも大変お世話になっております。今後とも、社会に出て、活躍していただける人材の輩出を宜しく願います。

過去に入社された方(JA時代を含む)は、幹部及びグループ会社の役員等として、活躍されている方が多数居ります。引き続き、優秀な貴学の学生を採用していきたいと考えておりますので、宜しく願います。

活躍の場を北海道内から日本国内、更には海外へと広げていく学生も多く、期待したい。

貴学出身の社員の方は、熱心で、好奇心が強い印象があります。弊社は、機械・電気・情報・建設と、幅広い事業を有している為、貴学の卒業生の方には、様々な場所で活躍頂いております。引き続き、どうぞ宜しく願います。

貴学卒業生は、現在、25名と、会社全体の1割に達しており、若手社員から管理職、女性社員と、幅広く在籍、活躍頂いております。私の印象としては、仕事自体への責任感があり、セルフマネジメントに長けている人が多いです。今後とも、何卒お付き合いの程、お願い申し上げます。

貴学の卒業生を採用したのは、ここ数年ですが思いやりがあり、仕事に対して真面目で、責任感を持って取り組む様子に好感を持っています。

技術職のみならず、北海道地域での就業を希望される学生様を歓迎致します。

基礎学力があり、優秀で、勉強意欲も高い。

現在、5名の卒業生が、異なる部内にて活躍しています。今後、積極的に採用させて頂きたいと思っております。

今後とも、継続的に貴校より優秀な学生の採用をしていきたいと考えておりますので、情報提供等、ご協力賜りますようお願い致します。

今後も貴校からの採用をしていきたいと考えています。

今後も継続的な採用を致したく、宜しく願います。

今後も積極的に、求人・採用していきと考えております。学内での説明会等、学生のニーズに沿った活動を行ってまいりたく、情報提供等、ご協力頂けますと幸いです。

昨年は、貴学の学生様を採用させて頂きまして、誠にありがとうございました。今後も御縁があればと存じますので、もし、関東地方での御就職をお考えの方等がいらっしゃいましたら、是非、ご紹介頂けますと幸いです。どうぞ宜しく願います。

先生の御推薦を頂き、ありがとうございます。

卒業生の皆様、当社で活躍されています。今後とも、どうぞ宜しく願います。

大変真面目で、優秀な学生さんが多いと感じます。今後とも、宜しく願います。

他社でも、貴校出身者に接してきましたが、皆、しっかりとした考えを持ちつつも、柔軟で素直な面を持っており、素晴らしいと思っています。是非とも、今の校風を維持して頂きたいと思います。

当社におきましては、空港事業の拡大・強化を進めております。新卒・既卒問わず、御応募ございましたら、宜しく願います。

入社2年目の卒業生が、在籍しています。私共は中小企業ですが、近い将来、幹部になり、経営者層に入ってもらえる人材となるよう幅広い実務経験を積んでもらえる教育を考えております。今後とも、宜しく願います。

平素より、当社採用活動にご協力頂きまして、誠にありがとうございます。今後とも、何卒、宜しく願います。

毎年、説明会に熱心に参加して頂いており、大変感謝しております。今後とも宜しく願います。

毎年、優秀な学生様をご紹介頂き、誠にありがとうございます。今後とも、どうぞ宜しく願います。

室工大の宣伝をもっとわかりやすく、広く。

もの造りに興味があり、自動車が好きな学生様が多く、当社と親和性が高いと感じています。

良い点は、コツコツ努力する人が多いので、今の教育方針は、正しいのではないのでしょうか。

来年度に入社頂く方がお見えです。是非、引き続き求人頂けますと幸いです。今後とも、どうぞ宜しく願います。

レベルも高いと思います。

室蘭工業大学
「平成 30 年度 企業アンケート」
集計結果報告書
平成 30 年 12 月
編著：一般社団法人日本能率協会
